

NO,20

アキノシ

(ニシ科)

秋(9月)に花が咲くニシであることからアキノシの名がつけられています。アキノシに対しハルニシと呼ばれるニシもあり、こちらは3~5月に花をつけます。アキノシの実(翼果)は10~11月ごろ熟し、翼果と呼ばれる7~13mmの広い楕円形をした扁平の独特の形をしています。12月ごろにもこの実を観察することができますので、一度、枝の中をのぞいてみるとよいでしょう。

アキノシは、高さ10~18mになる落葉高木で、本州中部以西から四国、九州の丘陵地帯に分布するほか、朝鮮半島や中国、台湾にも分布しています。公園や庭園、街路樹などにも植えられ、造園樹木としても知られています。

葉は長楕円形で長さ2.5~5cmとやや小さく、表面は濃い緑色でやや光沢があるのに対し、裏面は光沢がなく黄緑色をしています。葉の縁のギザギザ(鋸歯)は丸っぽく、8~14本ある葉脈(側脈)は明瞭で平行に並んでいます。一方、ハルニシの葉は長さ5~15cmとアキノシよりかなり大きく、先が急に細くなり尖っており、葉の縁のギザギザも尖っているため、簡単に見分けることができます。



▲ アキノシの葉と実(翼果)